

健康増進課 ☎ 893-2111

がん患者補整具等の購入費用助成事業

がん患者の治療と社会参加の両立を支援し、療養生活の質の向上を促すために、補整具等の購入費用を一部助成します。

- 対象**
- ①助成金の申請日に市民であること
 - ②医療機関でがんと診断され、がん治療を受けた、または現に受けている方
 - ③がん治療の副作用による脱毛症や乳房切除後の外見の変化に対処するため、R6.4/1以降に補整具等を購入した方
 - ④過去に本市または他の自治体で同様の助成を受けていない方

助成上限額 ウィッグ等3万円、乳房補整具等左右各2万円

申請 購入した翌日から1年以内

申請の流れ

- ①補整具の購入 購入時に必ず領収書を受け取ってください。
- ②補助金の申請 提出書類を健康増進課へ持参してください。来所が難しい場合は、ご相談ください。提出書類はHPをご覧ください。
- ③支給決定者への支払い 交付金額等が決定したら、申請後おおむね1～2か月後に、封書で申請者にお知らせします。その後、指定の金融機関の口座に振り込みます。



HP

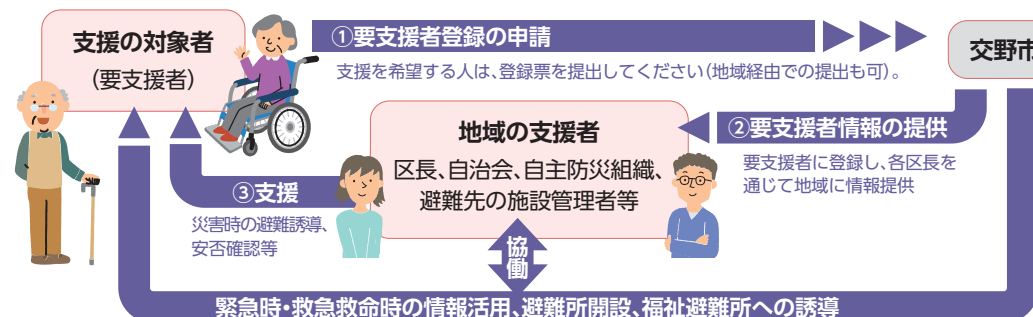
福祉総務課 ☎ 893-6400

おりひめ支え愛プロジェクト 登録はお済みですか？

おりひめ支え愛プロジェクトとは？

市では、災害発生時に一人で避難することが困難な方を「避難行動要支援者」として登録し、災害発生時や災害発生の際がある時に、地区や自治会等を中心に、地域で安否確認や避難誘導等の支援を行う「支え合い」の体制づくりを進めています。

おりひめ支え愛プロジェクトの仕組み



支援対象

- 在宅で暮らす自力避難が困難な方
- ▶介護保険の要介護認定3～5を受けている方 ▶身体障がい者(身体障害者手帳1・2級)
 - ▶知的障がい児・者(療育手帳A判定) ▶精神障がい者(精神障害者保健福祉手帳1級)
 - ▶65歳以上の一人暮らしの方、75歳以上の高齢者のみの世帯の方
 - ▶その他、自力避難が困難で、地域の支援を必要とする方
- ※あらかじめ「避難行動要支援者」に登録する必要があります。詳細はHPをご覧ください。



HP

市職員の募集

募集する職種、受験資格、採用予定人数等は下表のとおりです。各職種とも、国籍・性別は問いません。

採用予定日 R7.4/1(火) **第1次試験** 録画動画による個別面接を実施

募集要項 ホームページに掲載 **申込** 8/27(火)～9/12(木)までにHP



HP

職種 (募集人数)	受験資格	
事務職 (5名程度)	学校教育法による大学、短期大学等、高等学校を卒業した人、または同等程度の資格を有する人で、次のAまたはBの区分に該当する人	
	A	H7.4/2～19.4/1に生まれた人
	B	S51.4/2～57.4/1に生まれた人
事務職 (社会福祉士) (若干名)	S51.4/2以降に生まれ、社会福祉士の資格を有する人	
保健師 (4名程度)	S51.4/2以降に生まれ、保健師の免許を有する人	
建築職 (若干名)	S51.4/2以降に生まれ、次の①または②に該当する人	
	①学校教育法による大学、短期大学等、高等学校で、建築に関する専門の課程を修了した人 ②一級または二級建築士の資格保持者	
土木職 (若干名)	S51.4/2以降に生まれ、次の①または②に該当する人	
	①学校教育法による大学、短期大学等、高等学校で、土木に関する専門の課程を修了した人 ②1級または2級土木施工管理技士、技術士(建設または上下水道部門)のいずれかの資格保持者	
電気職 (若干名)	S51.4/2以降に生まれ、次の①または②に該当する人	
	①学校教育法による大学、短期大学等、高等学校で、電気に関する専門の課程を修了した人 ②1級または2級電気工事施工管理技士の資格保持者	
機械職 (若干名)	S51.4/2以降に生まれ、次の①または②に該当する人	
	①民間企業等における、機械設備関係の設計、施工管理、維持管理に関する職務経験が通算して3年以上ある人 ②建設設備士、技術士・技術士補(機械部門)、技術士(総合技術監督部門)のいずれかの資格保持者	
保育士 (若干名)	H2.4/2以降に生まれ、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を有する人	

※学歴は、いずれもR7.3月卒業見込みの人を含みます。免許、資格はR7.3月末までに取得見込みの人を含みます。

市職員採用説明会

日時 8/29(木)15:00～16:30
場所 市役所 別館3階中会議室
内容 交野市で働く魅力、先輩職員による説明、意見交換等

対象 交野市職員採用試験の受験を考えている方

定員 50人(先着)
申込 8/21(木)までにHP
問 人事課 ☎ 892-0121



HP

環境事業課 ☎ 892-2471

R5年度のごみの量

R5年度のごみ量は、前年度と比べて減少しました。家庭での生ごみ、食品ロスを削減するために、調理くずを副菜に活用したり、必要な物を必要な分だけ購入したり、生ごみはしっかりと水きりする等、「使いきり・食べきり・水きり」の3きりに取り組み、ごみの減量・分別にご理解、ご協力をお願いします。

(単位:ト)	焼却ごみ			粗大ごみ	埋立て
	家庭系	事業系	小計		
R4年度	11,639	4,022	15,661	1,063	49
R5年度	11,183	4,178	15,361	1,060	49

(単位:ト)	資源ごみ					合計
	缶・びん	牛乳パック	古紙・段ボール	廃プラ・ペットボトル	その他	
R4年度	358	7	642	980	65	18,825
R5年度	358	6	633	937	85	18,489